



平成 20 年 3 月 7 日

各 位

会 社 名 大 豊 建 設 株 式 会 社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 岡 村 康 秀
 (コ ー ト 番 号 1822 東 証 第 1 部)
 問 合 せ 先 管 理 本 部 総 務 部 長 中 杉 正 伸
 (T E L 03- 3297- 7000)

平成 20 年 3 月期通期業績予想の修正および期末配当予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 11 月 16 日に公表した平成 20 年 3 月期の業績予想および平成 19 年 5 月 22 日に公表した期末配当予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 3 月期通期業績予想の修正

1. 平成 20 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	174,000	400	1,800	500
今 回 修 正 予 想 (B)	166,000	2,200	700	900
増 減 額 (B - A)	8,000	2,600	2,500	1,400
増 減 率 (%)	4.6	-	-	-
前期実績 (平成 19 年 3 月期)	155,825	1,673	2,811	1,014

2. 平成 20 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	126,000	100	300	350
今 回 修 正 予 想 (B)	120,000	1,600	1,400	1,400
増 減 額 (B - A)	6,000	1,700	1,700	1,050
増 減 率 (%)	4.8	-	-	-
前期実績 (平成 19 年 3 月期)	122,175	344	333	87

3. 修正の理由

個別業績につきましては、改正建築基準法の影響や土木工事の一部で完成時期が延伸したために売上高が翌期にずれ込むこと等により売上高が 60 億円減少すること、受注競争の激化や資機材の高騰による工事利益率の低下、国内建築工事の一部および国内土木工事の JV (ジョイントベンチャー) サブ工事の一部での採算の悪化等により当社工事総利益が 15 億円減少したことに加え、本日公表の「東洋ホーム株式会社に対する債権の取立不能のおそれに関するお知らせ」のとおり当社の取引先である東洋ホーム株式会社 (神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目二番 1 代表者 丸山尚一) が平成 20 年 2 月 29 日付で横浜地方裁判所に破産手続開始の申立をしたため、同社に対する未回収の工事代金のうち 3 億 2 千 5 百万円について貸倒損失を計上することとした結果、売上高は、1,200 億円、営業損失 16 億円、経常損失 14 億円、当期純損失 14 億円となる見込みです。

連結業績につきましては、個別の理由に加え、当社の連結子会社である「株式会社森本組」が上記と同様の理由で、売上高および工事総利益が減少したことにより修正を行うのであります。

4.今後の取り組み

建設業界を取り巻く環境は、大変厳しい状況にありますが、選別受注の徹底や入札制度の変更に
対応して必要な組織変更も含めた対応を推し進めるとともに、ニューマチックケーソン工事やシールド工事
等得意とする技術を生かした営業展開を図ります。また海外工事においてはマダガスカル、台湾等の実
績のある地域において積極的に工事獲得に取り組みます。

また利益確保のためにより一層の工事原価の削減を図るとともに、経費削減として連結子会社である
株式会社森本組も含め、全国の支店営業所等の統廃合を推し進める所存であります。

なお具体的な事業計画については、現在鋭意、策定作業をすすめており、今年度の決算発表時に開
示する予定であります。

期末配当予想の修正

1.配当予想の修正

期末配当については1株当たり5円を予想しておりましたが、「平成20年3月期通期業績予想の
修正」により通期業績予想の大幅な下方修正を見込んでいるため、株主の皆様には大変申し訳ございま
せんが、以下のとおり期末配当予想を1株当たり2円に減額いたします。

2.修正の内容

基準日	1株当たり配当金		
	中間配当金	期末配当金	年間配当金
前回予想 (平成19年5月22日発表)		5円00銭	5円00銭
今回修正		2円00銭	2円00銭
当期実績			
前期(平成19年3月期)実績		5円00銭	5円00銭

上記の予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な
要因により予想値と異なる可能性があります。

以 上